

# みき通信

日本共産党 町議会議員  
くぼたみき 活動報告



第53号 2015年9月25日

発行 がんばれくぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

## 「民主主義は止まらない」 新しい時代の始まり

9月19日、憲法9条を破壊し、日本を「海外で戦争する国」につくり変える戦後最悪の違憲立法である戦争法（安全保障関連法）が安部自公政権により、強行成立しました。多くの憲法学者、歴代の内閣法制局長、元最高裁判所長官など、かつてない広範な人々から憲法違反と批判され、6割を超える国民が反対という中で強行で国会の醜悪な採決劇は、この政権が「独裁」そのものだということを示しました。8月30日の戦争法反対、強行採決反対の行動には、国会前で12万人、全国各地で2000カ所以上、述べ130万人以上の方が声をあげました。シールズやママの会など学生や若い母親をはじめ、老若男女様々な人たちが自分の意思で参加しているのが特徴です。

逗子・葉山でもサイレントスタンディングの会が発足し、30日はJR逗子駅に93人もの人々が並びました。

この自公政権の暴走への怒りの声は連日やまず、戦争法成立後も「民主主義を取り戻す」まであきらめないというエネルギーになって広がっています。

こうした状況の中で、19日、日本共産党の志位和夫委員長は、戦争法案を廃止し、立憲主義、民主主義を取り戻すために「戦争法廃止の国民連合政府の実現」を提案しました。憲法違反の戦争法を廃止するためには、国会で廃止の議決を行うこと。集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回することが必要です。そのためには安部自公政権の退場と、この課題を実行する政府が必要だからです。

今年の総選挙の時、沖縄で政治的違いはあっても「米軍新基地反対」の国民的大義で野党が結束したように、政策的な違いはあっても立憲主義、民主主義、平和主義を貫く新しい政治をつくるために、大同団結しようと呼びかけたものです。

戦争法廃止のために力をあわせていきましょう！！

## 葉山町から、栃木県鹿沼市にボラバス出発

町議会議員 くぼたみき

台風18号の豪雨により東日本の多くの場所で大規模な水害が発生しました。緊急支援のためボランティアバスをHSVN（葉山災害ボランティアネットワーク）が、レンタカーで、スコップ等機材を手配、参加者募集を企画し、シルバーウィークの20・21日と大きな被害を受けた栃木県鹿沼市に行ってきました。HSVNは東日本大震災後に発足し、これまでも多くの災害支援活動に取り組んでいます。災害支援を行うのはもちろんですが、もし葉山で大災害が起こったとき、支援物資・ボランティアの受け入れや、復旧までの様子を想定し、どうしたらよいかを常に検討しています。

鹿沼市の現地には11人が参加。作業は、裏山が崩れ小川をせき止めたため床下浸水となったお宅の庭の泥出しでした。自宅の周りには泥だけではなく様々なものが流されてきています。一日かけても終わりませんでした。どこから手を付けていいか気も滅入っていたが、きれいになって気持ちが前向きになりました」と喜ばれました。本当に災害はいつどこで起こるか分かりません。大震災以降、町民の方々の防災・減災の意識はさらに高まり、HSVN（葉山災害ボランティアネットワーク）を立ち上げ、自治会単位の防災倉庫備蓄品の強化や、自助・共助の取り組みが進んでいます。町でも25年度に「葉山町地域防災計画」が、津波地震対策編と風水害等対策編とに修正されました。計画はあるものの、実際に災害が起きた時、きちんと運用されるかが大きなポイントとなります。この計画は災害対策基本法により毎年検討を加え、必要があれば修正することになっていますが、町では26・27年も検討は行われていませんでした。

決算委員会の中で地域防災計画改定に関わる検討を行うことを指摘しています。検討を行う事が庁内部署での防災意識の高まりに繋がります。

前号でお知らせした「葉山町学校給食への取組み」に関して町議会として町民の方のご意見を伺う会を設けました。行政側が議会へ説明した中間報告をお伝えし、現段階で考えられている小中学校6校一緒にした共同調理場・センター方式での給食実施への思いをお聞かせ下さい。

開催日：10月24日(土)

時間と会場 10:30~12:00 上山口小学校旧校舎

15:00~16:30 葉山町教育センター2F